

「栗東市デジタル田園都市総合戦略(第3期栗東市総合戦略)(案)」に対する意見募集の結果について

「栗東市デジタル田園都市総合戦略(第3期栗東市総合戦略)(案)」にかかるパブリックコメントを実施いたしました。お寄せいただいたご意見を整理し、市としての考え方をまとめましたので、お知らせいたします。

1. 意見の募集期間 令和6年7月2日(月)～令和6年7月31日(水)
2. 意見の件数 3件(意見提出者2人)
3. 提出されたご意見及びそれに対する市の考え方 ※ご意見については、趣旨を踏まえて要約しています

	ページ 番号	該当 項目	意見の概要	市の考え方(案)
1	42	良好な住環境の整備促進について	「市街化区域内の未利用地の有効利用による住宅供給の促進」と書かれていますが、個人が所有している未利用地で住宅供給をするために、どのような取り組みをする予定でしょうか？奨励金の支給や市が未利用地を買収して開発するなど住宅供給を促進するような取り組みが必要だと思えます。	具体的な取組については、今後、実行計画の作成により明らかにしてまいります。市で用地取得を行うのではなく、規制緩和や各種支援策により民間による開発を誘導するような施策展開が必要であると考えています。ご意見を参考に、実行計画の策定に取り組んでまいります。
2	43	実現すべき成果に係る数値目標について	0～4歳児の社会動態をプラスに転じさせることが目標に書かれていますが、少し非現実的だと思えます。栗東市で0～4歳の人口を社会増加にするためには、1年間あたり200戸以上を現状より多く供給する必要があるのではないかと思います。莫大な量の住宅を供給するための大型マンション建設や戸建て住宅地の造成など、取り組みをする予定でしょうか。	具体的な取組については、今後、実行計画を策定し、明らかにしてまいります。子育て世代のニーズにあった住宅施策の一環として、規制緩和や各種支援策により民間による開発を誘導するような施策展開が必要であると認識しております。また、子育て支援や生活基盤の充実により、持家・賃貸に関わらず本市に長く住み続けたいと思っていただけるような取り組みを行うことで転出超過の抑制を図ってまいります。ご意見を参考に、実行計画の策定に取り組んでまいります。

3	全体を通して	<p>本戦略掲載のさまざまな分析視点はまち全体をひとくくりにしたものであり、都市部と農村部など、地域ごとの視点がみられません。また、若い世代をはじめとする人口動態について、もっと掘り下げ、地域や職業、年齢等のさまざまなデータを多角的に分析することによって、特徴的なまちづくりに関するヒントが得られるのではないのでしょうか。</p> <p>観光やグルメとは違った視点からまちの魅力を発見・発信するために、市民も巻き込んだデータ活用に取り組んではと思います。また、行政が持つデータだけでなく、さまざまな機関や民間にもデータを求めていけばどうでしょうか。</p> <p>P43～44にはぜひそうした特徴的なプロジェクトやそれを支えるデジタル基盤整備を盛り込んでいただけるといいなと思います。</p>	<p>今回まずは、本市の喫緊の課題が子育て世代の転出超過にあることを明らかにしました。現状、地域ごとの人口動態について、年齢別の把握には至っていないため引き続きデータの蓄積、分析を進めてまいります。</p> <p>また、取組を行う上では、市民の皆様をはじめ、産学官等の様々な分野との連携も重要になると考えております。そのためには、ご提案いただきましたようなデータの共有も大切であることから、オープンデータの活用も含め、より良いデータ活用の在り方について検討してまいります。</p> <p>なお、戦略で掲げるプロジェクトは、取組のイメージを持っていただきやすい表現としておりますが、今後策定する戦略の実行計画においては具体的かつ本市の課題に沿った計画になるよう、努めるとともに適宜、必要に応じて見直しを図るなど柔軟性を持った計画としてまいります。</p> <p>ご意見を参考に、実行計画の策定に取り組んでまいります。</p>
---	--------	--	---